

第24期「学術と法」分科会第2回会合議事録要旨

日時：2018年7月2日（月）14時～17時

場所 日本学術会議 5-A(1)会議室

出席者：亀本洋、紙谷雅子、小森田秋夫、佐藤岩夫、鈴木賢、廣渡清吾、平野敏彦、平山真理、三成賢次（Skype 参加）、山田八千子（敬称略・順不同）

欠席者：高山佳奈子

議題

1. 前回議事録の確認
2. 報告と討論

報告者

佐藤岩夫委員「学術と法分科会の課題（仮題）」

亀本洋委員長「R. Posner に見る裁判と法学のあり方（仮題）」

3. 今後の予定
4. その他

議事内容

1. 前回議事録の確認

前回会合の議事録の確認が行われた。

2. 報告と討論

佐藤岩夫会員より「『学術と法』分科会：前期の活動及び今期の課題」、亀本洋委員長より「R. Posner に見る裁判と法学のあり方」として報告があり、各報告後に報告者と委員の間で活発な質疑応答が行われた。

3. 今後の課題と次回以降の予定

上記「2」とも関連し、24期のアジェンダについて様々な意見交換がなされた。

また、次回以降の予定については、委員長、副委員長、幹事により話し合い、会合日程案も含め、後日分科会メンバーに対して連絡を行うことが了承された。

4. その他

本分科会の議事要旨の承認は、会議等開催後にメール等により出席者が議事要旨の内容を確認し、出席者全員が確認したことが明らかになった後、承認については議長に一任する方法によることが了承された。

以上